

Powell & Son (Neldner Road)

パウエル&サン (ネルドナー ロード)

「原点に戻ってワイン造りを」—デヴィッド・パウエルの復活



◆**醸造家デヴィッド・パウエル**◆ オーストラリアワインの雄「トルブレック」のワインビジネスをゼロから立ち上げた伝説の男、デヴィッド・パウエル。若かりし頃、スコットランドの高地で木こりとして働き、後に故郷の南オーストラリアに帰郷するとピーター・レーマンやロックフォードのようなオーストラリアワインの業界大手で働き、この頃から一年の半分を北半球で過ごし、北イタリアや南仏ローヌで収穫の仕事に従事するようになります。そして90年代初頭、ワインの過剰供給で樹齢の古いブドウ園を手付かずで放置していた農園主たちに「シェア・ファーマーリング」の契約を持ちかけ、自らのワイン作りを開始します。この手法でバロッサの地で最も樹齢の古い神聖な古樹から採れるブドウの入手が可能となったパウエルは、このワイン・ブランドにスコットランドで妻と出会った思い出の場所に因んで「トルブレック」と命名。たちまち世界的な評価を得るに至りました。そのワインは、「まるで一方の足を北半球に置きつつ、もう一方の足を南半球に置いているかのようなワイン」と評されました。

◆**Powell & Son の誕生**◆ 2013年にトルブレックを去ったパウエルは、2014年に息子のカラムと共にワイナリーを立ち上げ、パウエル&サンと名付けました。パウエル&サン設立当初よりカラムとデヴィッドが目標の1つとしたのがイーデン・ヴァレーを前面に打ち出すことで、この卓越したテロワールの世界的な認知度を高めることでした。イーデン・ヴァレーのユニークな個性を打ち出したリースリングと2つのシラーズをリリースしたのもこのためです。バロッサとイーデンに点在する6つの単一畑は、この土地の土壌と気候の多様性を雄弁に物語ります。何れのワインも畑に最初にブドウを植樹した初期入植者の農家の名前と畑の所在地であるサブリージョンの名前を冠しています。その後、ワイン造りに対する方向性の違いから、息子のカラムは独自のワイン造りに専念するために独立し、現在、デヴィッドがワイナリーの運営を継続して行っています。そうした経緯に加えて、今後のビジネスをより円滑に進めるため、ワイナリー名を「ネルドナー・ロード」に変更しました。パウエル&サンのラインナップはそのままに今後はラベルのみ順次変更になる予定です。

◆**栽培・醸造**◆ブドウ栽培は、全て自然環境に配慮し、有機栽培かビオダイナミのいずれかを採用しています。剪定から畑の手入れに至るまで全てを自分達の手で行い、毎年1年のうち3ヶ月間をブドウの剪定に充てています。開放型コンクリートタンクでの発酵、ルモンタージュ、バスケット・プレスを含む酸化作用の促進を促す醸造手法を用い、熟成用の樽は全てフレンチオークを使用。大きめのフールドと小型のバリック、パンチオン(大樽)を組み合わせて、ワインの個性とテロワールの持ち味を引き出しています。フレッシュな果実感と生き生きとした快活な味わい、一切妥協を許さないテロワールの表現。栽培と醸造プロセスにおけるあらゆる選択・決断は、全てこの2つのクオリティのバランスを取るという原則に基づいて下されます。

◆**ワイン・アドヴォケート#238号2018/9/1掲載記事**◆ デヴィッド・パウエルは、1994年にトルブレックのワインブランドを独力で立ち上げた醸造家だ。2016年ヴィンテージは、デヴィッドと息子のカラムにとってパウエル&サンの銘柄でリリースする3度目のヴィンテージとなる。ブドウ畑の多くは、以前デヴィッドがワイン作りをしていた頃と似たものだが、息子カラムがワインのスタイルに大きな影響を与えたことは疑いようがなく、故にトルブレックのワインとは明らかに異なる。変化自体は微々たるものだが、フィネスで複雑味を引き出すため、樽香の出し方や香味成分の柔らかな抽出方法に更なる緻密さが感じられる。「カラムが加わり、新たな視点をもたらしてくれたことが必要不可欠な要素となった」とパウエルは言う。パウエル&サンのラインナップにおける目玉となるワインは、全く異なる持ち味を持つテロワールから、それぞれに全く個性を異にする味わいを引き出したシュタイナート・シラーズとクレール・シラーズだが、今回リリースされるワインに関しては、どのワインを選んだところで決して間違いはない。

■**2014 ヴィンテージ情報**■ 近年オーストラリアでは、過酷な気象条件がますます頻繁に見られるようになってつつありますが、2014年は、霜、暴風、熱波といったあらゆる異常気象に見舞われたチャレンジングな年でした。この年の収穫量は例年よりも低く、グレート・ヴィンテージとは呼べないまでも、どのブドウ品種においても全体的にクオリティは確かな年となりました。

■**2015ヴィンテージ情報**■ 2015年は、例年通りの多雨多湿な冬と穏やかな春、素晴らしい着果により最高のスタートを切りました。乾燥した春に続き、病害もなく穏やかに乾燥した夏を迎え、ブドウは豊かな酸を蓄え、色味と果実味がよく凝縮しました。1月は暑く乾燥した風の多い気候で幕を開けたものの、第1週目の終わりには、60~75ミリの雨が降り、過去11年間で最も冷涼な1月となりました。乾地農法で育つ古樹にとっては正に恵みの雨となり、続く2~4月の穏やかな天候により、最高の収穫を迎えました。リースリングとシラーズにとっては特に当たり年で、素晴らしくピュアな果実味に美しくバランスのとれた酸、最高の熟成ポテンシャルを備えたエレガントなヴィンテージに仕上がりました。

■**2016ヴィンテージ情報**■ 12月は気温が高く、夏の間は比較的雨のない乾燥した天候が続いたため、ブドウの熟成期を1月まで早めましたが、その後、2度ほど大雨に見舞われた影響で収穫期は秋の暮れ頃まで延びました。その後は穏やかな気候が続いたため、ブドウの糖度は上がり過ぎることなく、収穫前のハングタイム(ブドウが木に実っている期間)を長く取ることが出来ました。収穫されたブドウは、糖度が極めて低く酸が高く、これまでに見たこともない濃厚な色合いと果実味を湛え、ストラクチャーのしっかりとした素晴らしい深みと旨味のあるワインに仕上がりました。2016年ヴィンテージは、長期熟成力の極めて高いワインとなるでしょう。

■**2017 ヴィンテージ情報**■ 前年よりも遅く収穫を迎えた2017年は冷涼で雨の多い天候と共に幕を開け、この影響で初期の病害リスクは高まりましたが、近年のヴィンテージに見られるような乾燥や干ばつによる問題は一切なく、オーストラリア全土に渡って豊富な収穫量に恵まれました。収穫期を通して乾燥した良い天候が続いたため、全体的に非常にクオリティの優れたヴィンテージとなりました。

■2019 ヴィンテージ情報■ 夏の暑く温暖な気候を特徴とする 2019 年の生育期は、開花期に目立った風雨や雹に見舞われることはありませんでしたが、広範囲にわたる霜に 3 度も立て続けに見舞われたため、通常の年よりも早く収穫を迎えた低収量の年となりました。このような気候条件により、ブドウは例年よりも小さく凝縮感のある色の濃い実を付け、重厚で肉付きの良い果皮が発達しました。収穫量は落ちたものの、色味、タンニン、アロマの凝縮したクオリティの高いヴィンテージとなりました。

■2022 ヴィンテージ情報■ 平均を上回る雨に見舞われた年で、シーズン中は枝葉が豊かに茂りました。10 月下旬に渓谷地帯の一部で、激しい雹嵐が発生し、平均収量が減少しました。一方、夏は驚くほど穏やかな気候で、30 度を超える日はほとんどありませんでした。ブドウは、涼しい気候下でゆっくりと成熟し、やや高めの酸と繊細なタンニンを備えた濃厚な色合いのワインが出来ました。

■2023 ヴィンテージ情報■ 生産者にとってチャレンジの年となりました。冬は大雨に見舞われ、多くの産地で春まで雨が降り続けました。例年よりも涼しく、洪水やべと病などの被害が発生したため、生産量が減少しました。しかしながら、夏は暑すぎず、穏やかな天候が続いたため、ブドウはゆっくりと成熟していきました。その結果、この年は、低収量ながらもエレガントな酸と複雑性を備えたワインに仕上がっています。

~Dry White Wine~

2022・2023 Eden Valley Steinert Riesling

上代価格 ¥5,000 (税別)

イーデン ヴァレー シュタイナート リースリング

JAN コード: 4543190603713

イーデン・ヴァレーのフラックスマンズ・ヴァレー高地に広がる畑に育つ樹齢 90 年の古樹のリースリングは、繊細で華やかなアロマが香るエレガントなスタイルで、リリースから 10 年間は熟成の効く寿命の長い白ワインです。辛口の白ワインですが、寿司や天ぷら、特に白身の刺身と合わせると繊細な果実の甘さがふわりと香り立ちます。

※スクリュューキャップ仕様

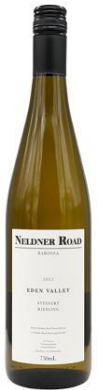
■テクニカル情報■ 産地: 南オーストラリア州イーデン・ヴァレー (サブリージョン: フラックスマンズ・ヴァレー)
品種: リースリング 100% Alc: 12.5% (2022VT)、13% (2023VT) 樹齢: 90 年 畑の標高: 440m 土壌: 粘土の上に石英質の黒いローム土壌が連なる 醸造: ブドウは手摘みして房ごと圧搾後、ステンレスタンクで低温発酵。その後再び冷却して安定させ瓶詰。
収穫日: 【2022VT】4 月 14 日 【2023VT】4 月 24 日

■コメント■ 熟れた柑橘系果実の浮き立つようなアロマにグアバや濡れた石を思わせるミネラル香が微かに香る。ワインは澁刺とした味わいで、真っ直ぐな酸が感じられ、ライムジュースやロックメロンの風味が広がる。力強い酸がゆったりとした余韻の長い後味を生む。リリース直後から愉しめるワインだが、今後 10 年は熟成が効く。サーブする前に軽く冷やすと良い。

★相性料理: イーデン・ヴァレー・リースリングは、天然の牡蠣やあらゆる魚料理、スパイシーな食べ物とも抜群の相性。

2023VT★パーカーポイント 93 点: 白いパイナップルや砕いた岩、麦わら、塩気を帯びた風味が主体。主張しすぎない柔らかな花のアロマを持ち、砕いた石英や砂を思わせるミネラル香が漂う。美しい。中盤はスパイシーで緊張感があり、広がりのある後味が果実味に複雑さと濃密さをもたらす。洗練されたワイン。◀飲み頃: 2024-2038 年 | 2024/6/21 掲載▶

2023VT★ヴィノス 92 点: 収穫が遅かったため、例年のスタイルとは少し異なるものの、洋ナシや柑橘類の心地よいアロマを伴う豊かな風味が魅力的だ。リッチな質感とよく熟したキレのある酸を備えた素晴らしい味わい。かなりシリアスなワインで余韻が長い。◀飲み頃: 2025-2032 年 | 2024/7 掲載▶



~Dry Red Wine ~ (Grenache Base)

2019 Riverside GMS (Grenache, Mataro, Shiraz)

上代価格 ¥3,300 (税別)

リバーサイド ジー エム エス

JAN コード: 4543190603461

1800 年代から続く 1000 エーカーの牧場の一面に育つ樹齢 20 年程の若木から収穫されたグルナッシュ、マタロ、シラーズを品種ごとに別個に醸造し、瓶詰前にブレンド。年間生産量は約 3000 ケースでドメヌの全生産量の半分を占めています。

※スクリュューキャップ仕様

■テクニカル情報■ 産地: 南オーストラリア州バロッサ・ヴァレー (サブリージョン: リンドック) 土壌: 地層の深い茶褐色のローム土壌
品種: グルナッシュ 70%、マタロ 20%、シラーズ 10% 平均樹齢: 20 年 Alc: 14.5% 醸造: バスケット・プレスで優しく圧搾し、品種ごとにルモンタージュしながらコンクリートタンクで発酵。その後、グルナッシュの 50%は、ステンレスタンクで熟成。残りのグルナッシュ 50%とマタロ、シラーズは容量 4500L のフレンチオークのフールドで 15 カ月熟成させ、無ろ過・無清澄で瓶詰。

■コメント■ 熟れたキルシュや砂糖漬けのサクランボ、プラムのアロマが香る。柔らかく繊細な口当たりながらも、マタロ特有のタンニンが感じられる。リリース直後から愉しめるワインだが、今後 7 年は熟成が効く。



2017 Barossa Valley GSM (Grenache, Shiraz, Mataro)

上代価格 ¥7,500(税別)

バロッサ ヴァレー ジーエス エム

JANコード: 4543190602921

偉大なロース原産の3品種の個性が余すところなく引き出されたワイン。グルナッシュが醸す赤果実とキルシュ、ブラックチェリーの力強いアロマに、シラーズとマタロ特有の挽き肉、なめし皮、獣肉、重厚なスパイスの風味が加わります。

※コルクキャップ仕様

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州バロッサ・ヴァレー(サブリージョン:セップルツフィールド、マランガ、エベニーザー) 樹齢:60~150年 栽培:乾地農法・有機栽培 醸造:品種ごとに個別醸造。1日に2度ルモンタージュしながら開放型のコンクリートタンクで発酵。その後、容量2300Lのフレンチオークのフールドルに移し、野生酵母でのマロラクティック発酵を経て15ヶ月熟成。ブレンドし、無ろ過・無清澄で瓶詰。品種:グルナッシュ60%、シラーズ20%、マタロ20% Alc:14.5% 生産量:1,000ケース

■**コメント**■ ベリー系果実と熟れたプラムを思わせるグルナッシュの強く陶酔させるようなアロマが際立つ。シラーズとマタロがワインの味わいに複雑味を与え、濃厚さと重量感を湛えつつも、きめ細やかで引き締まったタンニンを持つワインに仕上がっている。リリースから15年間が飲み頃。鴨肉や羊肉を使った料理と最高の相性。



~Dry Red Wine~ (Shiraz Base)

2019・2021 Barossa Valley Shiraz

上代価格 ¥4,400(税別)

バロッサ ヴァレー シラーズ

JANコード: 4543190603478(2019VT), 4543190603812(2021VT)

マランガ、セップルツフィールド、リンドック・ヴァレーの畑で育つ平均樹齢20年程の若木のシラーズをブレンド。バロッサ・ヴァレーのテロワールを最もピュアに表現した芳醇でスパイシーな味わいは、ステーキや赤身の肉と最高の相性です。

※スクリーキャップ仕様

※2021VTラベルは、Neldner Road(ネルドナー・ロード)のワイナリー名が印字されています。

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州バロッサ・ヴァレー(サブリージョン:マランガ、セップルツフィールド、リンドック) 品種:シラーズ100% Alc:14.5% 平均樹齢:30年以上 土壌:粘土質の下層土に暗い赤茶色の砂と赤い粘土が連なる 醸造:シラーズは、手摘みして開放型コンクリートタンクで発酵させ、バスケット・プレスで圧搾。フレッシュな果実味を出すため容量4500Lのフレンチオークのフールドルで15~18ヶ月熟成させた後、無濾過・無清澄で瓶詰。 収穫日:【2019VT】2月23日、3月11日、15日 【2021VT】3月11、13、15日

■**コメント**■ 黒鉛、タール、塩漬け肉、熟れた黒果実を思わせる深みのある香り。口に含むと熟れた果実味を持つフルボディの味わいが感じられ、旨味のあるニュアンスと乾いた塵っぽいタンニンが脇をしっかり固めている。豊かな黒果実と白胡椒を思わせるスパイスの風味が後味に広がる。今後15年間が飲み頃。どんな肉料理とも最高の相性。



2019VT★**パーカーポイント93点**:複雑さとフレッシュ感を湛えた風味豊かな味わい。素晴らしいコスパワイン。ピュアで濃密な果実味と溶け合う心地よいスパイスのニュアンスが特徴的。<飲み頃:2022-2032年 | 2022/10/1 掲載>

2019VT★**ジェームス・サックリング94点**:ジュシーかつ重層的な味わいで、ブラックベリー、リコリス、黒鉛の香りと風味が広がる。ミディアム〜フルボディで、洗練されたタンニンと心地よい後味が印象的。綺麗な仕上がりに。今が飲み頃。<2022/11/7 掲載>

2021VT★**パーカーポイント92点**:スパイシーでしなやかな質感を備えた濃密なシラーズで、ブラックベリーやブルーベリー、黒い土、ラズベリーを思わせるアロマを持つ。フレッシュでスパイシー。 <飲み頃:2024-2031年 | 2024/6/21 掲載>

2021VT★**ヴィノス92点**:魅力的なワインで、甘いチェリーリキュールや燻製肉、タールの香りが幾重にも重なり、ふくよかでバランスのとれた開放的な味わいが広がる。美しいテクスチャーを備えた味わいが口中に広がり、きめ細やかなタンニンと完璧な調和を見せる。今飲んででも素晴らしいが、少し熟成させても美味しく味わえるだろう。 <飲み頃:2025-2031年 | 2024/7 掲載>

2017 Barossa & Eden Valleys Shiraz

上代価格 ¥7,500(税別)

バロッサ & イーデン ヴァレー シラーズ

JANコード: 4543190602938

2つの偉大なテロワールの個性を融合させたワインです。バロッサ・ヴァレー特有の男性的で力強い黒果実とアニス、スマイルの花の濃厚なアロマに、イーデン・ヴァレーの女性的でエレガントな酸と仄かなハーブのニュアンスが香ります。

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州バロッサ・ヴァレー(サブリージョン:マランガ) & イーデン・ヴァレー Alc:14.5% 品種:イーデン・ヴァレー・シラーズ50%(樹齢40年以上)、バロッサ・ヴァレー・シラーズ50%(樹齢60年以上) 醸造:収穫区画ごとに開放型のコンクリートタンクで発酵。1日に2回ルモンタージュ。バスケット・プレスで優しく圧搾して容量4500Lのフレンチオークのフールドルに移し、野生酵母で自然にマロラクティック発酵させた後、15ヶ月熟成し、無濾過・無清澄で瓶詰。生産量:950ケース。

■**2017コメント**■ スマイルの花とイバラの浮き立つようなアロマに黒果実と挽き肉の香りが感じられる複雑味のあるワイン。贅沢で重厚な味わいだが、浮き立つようなナチュラルな酸と赤果実の香りを保持しており、後味にフレッシュな印象を与える。今後20年間が飲み頃。重厚なソースをかけた大ぶりの肉料理などと抜群の相性。



2017 Loechel Eden Valley Shiraz

上代価格 ¥15,000(税別)

レイケル イーデン ヴァレー シラズ

JANコード:4543190603058

半世紀以上前にレイケル家が植樹したこの単一畑は、イーデン・ヴァレー最南端にあり、雲母片岩に堆積した石英と砂利が混じる砂礫質のローム土壌を持ち、極めて低収量なため凝縮感のある芳醇で複雑な味わいのワインが出来ます。

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州イーデン・ヴァレー最南端 品種:イーデン・ヴァレー・シラズ 100% 平均樹齢:60年 Alc:14.7% 標高:440m 土壌:粘土に黒い雲母片岩が連なる 醸造:開放型コンクリートタンクで発酵。1日に2回モンタージュ。バスケット・プレスで压榨し、樽に移して野生酵母でマロラクティック発酵させた後、フレンチオークのバリック(ドミニク・ローランの新樽)で熟成(18ヶ月)させ、無濾過・無清澄で瓶詰。生産量:450ケース

■**コメント**■ イーデン・ヴァレーにある単一畑の西側の区域に育つ古木から収穫した2017年のレイケル・シラズは、森の果実やスミレの花、セージのアロマが飲み始めから香り、ローストした肉やベーコンの脂、耕した大地を思わせる複雑味のある香りが加わる。口に含むと、しなやかで丸みのある果実味が感じられ、イーデン・ヴァレーに典型的な煤(すす)のようなタンニンが土台を成している。今後20~30年間で飲み頃。肉料理、特に鹿肉のような獣肉と抜群の相性。

★**ジェームス・サックリング 95点**:ローストした肉や赤や黒のベリー系果実のアロマが連なる複雑で極めてスパイシーな香り。リボンのように滑らかに流れるシルキーなタンニンを持ち、熟れた赤果実の味わいが主体的に感じられ、エレガントな後味が続く。早飲みも出来るが熟成も効く。《2019/5/16掲載》他誌評価:★**ワイン・エンスージアスト 92点** ★**ワイン・スペクテーター 91点**



2016・2017 Kraehe Marananga Shiraz

上代価格 ¥75,000(税別)

クレー マラナガ シラズ

JANコード:4543190603218

クレー家は、19世紀半ばにドイツからバロッサ・ヴァレーに定住した初期の入植者で、この一家が所有する土地には、最も古いブドウ樹で樹齢100年以上の古樹が育ちます。この単一畑から産するシラズは、プラムやダークチェリー、ブラックベリーを思わせる芳醇で豊かな果実味に溢れ、すっきりと洗練された暗く深みのあるタンニンを湛えた骨格の良い味わいが染み渡るように口内を満たします。濃厚で凝縮感のあるゴージャスでユニークなスタイルが引き立ちます。

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州バロッサ・ヴァレー(サブリージョン:マラナガ) 標高:235m 品種:シラズ 100% Alc:14.5% 樹齢:120年 土壌:鉄鉱石の上に暗い赤褐色のローム土壌が連なる 畑:東向き 醸造:開放型のコンクリートタンクで発酵。1日に2回モンタージュ。バスケット・プレスで压榨し、樽に移して野生酵母でマロラクティック発酵させた後、フレンチオークのバリック(樽板の厚みが通常の2倍の45ミリあるドミニク・ローランの樽)で22ヶ月熟成させ、無濾過・無清澄で瓶詰。生産量:155ケース

■**2017 コメント**■ 煮詰めたプラムや耕した土、オリブタブナードの香りがグラスから溢れるように香り立つ。味わいはダークで奥深く、甘いチェリーやブラックベリー・ジャム、ブラッド・プラムの風味が感じられる。フレッシュで生き生きとした酸がシルキーで滑らかなタンニンを引き立て、ワインに長期熟成に耐え得るしっかりとした骨格を与えている。今後20~30年間で飲み頃。牛肉や鹿肉、熟成させたハードチーズなどと抜群の相性。

2017VT★**パーカーポイント 97点**:肉付きの良い、凝縮感のある濃厚な力強いワインで、バランスも良く、非常に素晴らしい。実に風味豊かで、しっかりとしたオーク香が果実味を支えている。爆発的なパワーと溢れんばかりの豊かな風味。秀逸なワインながらも、味わうには心構えが必要だ。《飲み頃:2022-2037年 | 2022/10/1掲載》2017VT他誌評価:★**ワインスペクテーター 97点** ★**ジェームス・サックリング 93点**

■**2016 コメント**■ マラスキーノ・チェリーとダークプラムの香りを主体とする表情豊かなアロマに、獣肉や石炭、タール、ブラックオリーブの風味が香る。暗く深みのある味わいで、ブラックベリー・ジャムを思わせる果実味が口内に染み渡るように広がり、力強く骨格の良いタンニンが熟成力の高さを物語る。長期間の熟成が効く寿命の長いワイン。

2016VT★**パーカーポイント 98点**:2016年のクレー・シラズは、マラナガで育つ樹齢110年の古樹から収穫。シュタイナート・シラズ同様、ドミニク・ローランの新樽・バリックで熟成させることで、鉛筆の削りくずや乾燥スパイスの魅惑的なニュアンスを引き出している。味わいはフルボディで、ブラックベリーやスパイスの風味が豊かに溢れる。実に贅沢でシルキーな味わいで、永遠に続くかと思われる余韻の長い後味と共に、卓越した優美さとエレガンスを湛えている。《飲み頃:2018-2035年 | #238/2018/9/1掲載》2016VT他誌評価:★**ジェームス・サックリング 94点**



2014・2015・2016・2017 Steinert Flaxman's Shiraz

上代価格 ¥75,000(税別)

シュタイナート フレックスマンズ シラズ

JANコード:4543190602969(2014VT), 4543190603072(2015,2016,2017VT)

イーデン・ヴァレーで最高のテロワールを誇るフラックスマンズ・ヴァレーの小高い丘の上に樹齢120年以上のバロッサで最も貴重な古樹が育つシュタイナート・ヴァンヤード。海拔480mの冷涼な高地で長い時間をかけてゆっくりと成熟したブドウは、見事な複雑味と素晴らしくエレガントで力強いタンニンを備えた凝縮感ある卓越した味わいに仕上がります。

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州イーデン・ヴァレー(サブリージョン:フラックスマンズ・ヴァレー) 畑の標高:海拔480m 品種:イーデン・ヴァレー・シラズ 100% 樹齢:120年以上(1890年植樹) 土壌:粘土に砂利と石英を多く含むローム土壌が連なる Alc:14.5% 醸造:ブドウは除梗し、開放型のコンクリートタンクで1日に2回モンタージュしながら10日間かけて発酵。澱引きし、果皮をバスケット・プレスで優しく压榨し、タンニンの抽出を促進。ドミニク・ローランのバリックに移して野生酵母でマロラクティック発酵させ、新樽に移し替えて18か月熟成。無濾過・無清澄で瓶詰。生産量:150ケース(2016&2017)/200ケース(2014&2015)

■**2017 コメント**■ 非常に暗く深みのあるワインで、黒い核果実や森のベリーのアロマをスミレや濡れたクオーツの香りが引き立てる。味わいは重厚だが高揚感があり、砂利質土壌のニュアンスが香るタンニンがコロコロと転がるように口内を満たし、ワインにしっかりとした骨格を添え、後味まで続く。今後30年以上にわたり格別な飲み頃が続く。肉料理や熟成させたハードチーズと最高の相性。

2017VT★**パーカーポイント 96点**:ベーコンの脂身やブルーベリー、黒鉛の浮き立つような濃厚なアロマが瞬時に広がる。オークではなく、果実味が秀逸な味わいを構成している。口中に広がるフレッシュ感とエキゾチックな風味のバランスの良さが決め手となっている。スパイシーで極めて長い余韻を持つ。オークの香りはまだ顕著だが、その奥に贅沢な果実味が広がり、長期熟成のポテンシャルがうかがえる。

まだ最初のピークには到達していない。《飲み頃:2022-2037年 | 2022/10/1掲載》

2017VT他誌評価:★**ワインスペクテーター 93点** ★**ジェームス・サックリング 93点**



2016VT★パーカーポイント 98 点:パウエルの 2016 年シュタイナート・シラーズは、その価格帯さながら、イーデン・ヴァレーの新たなアイコンワインと呼ぶに相応しい風格を備えている。イーデン・ヴァレーでもひととき冷涼な気候を持つフラックスマンズ・ヴァレーに育つ樹齢 120 年以上のシラーズから作るこのワインは、ガリーグ、焼きスパイス、ブラックチェリー、ラズベリーの複雑なアロマが豊かに溢れる。クリーミーなテクスチャーを湛えた贅沢な味わいのフルボディで、赤果実と濡れた石の香りがこだまのように広がり、永遠に続くのではないかと思われるほどの余韻の長い後味を生む。《飲み頃:2020-2040 年 | #238/2018/9/1》 2016VT 他誌評価:★ワインスペクテーター95 点 ★ジェームス・サックリング 96 点

2015VT★パーカーポイント 97+点:イーデン・ヴァレーで最も冷涼なフラックスマンズ・ヴァレーに位置する 2 ヘクタール程のこの小さな単一畑には、樹齢 120 年を超える古樹のシラーズが育つ。2015 年シュタイナート・シラーズは、深いガーネット・パープルを湛え、美しい赤スグリ、ブラックチェリー、ブラックラズベリーのアロマに、仄かな胡椒とスパイスの箱のニュアンスが感じられ、そよ風のようなバラの花の香りが一瞬ふわりと香る。ミディアム〜フルボディの極めて濃厚な味わい。よく熟れた赤いベリー系果実とスパイスの風味が幾層にも層を成して表れ、香り豊かな後味が長い余韻を残す。《飲み頃:2018-2038 年 | #229/2017/3/1 掲載》

2015VT 他誌評価:★ワインスペクテーター94 点 ★ジャンシス・ロビンソン 18/20 点

2014VT★パーカーポイント 97 点:外観は深いガーネット・パープル。ブラックベリー、乾燥した桑の実、プラムのアロマに、サンダルウッド、熟成肉、卸したての革、獣肉、酵母、スパイスの箱の複雑で奥深い香りが広がる。味わいは凝縮感あるフルボディで、様々な風味が層を成し、豊かなフイネスとキメ細やかな熟れたタンニン、フレッシュ感が溢れ、大地の香りを帯びた余韻の長い後味が広がる。

《飲み頃:2017-2030 年 | #211/2016/6 掲載》